



2026 年 9 月 28 日

「未年羊図記念コイン」 予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取 生田 雅彦）は、「未年羊図記念コイン」の予約販売を 10 月 5 日（月）より開始します。お知らせいたします。

このコインは、2010 年以來 17 年目となるシリーズで、英国王立造幣局、フランス国立造幣局、オーストラリア・パース造幣局、カナダ王室造幣局、シンガポール造幣局が鑄造し、英国、フランス、オーストラリア、カナダ、ブータンの 5 か国から発行されるもので、以下のとおり予約販売を開始いたします。

記

1. 販売概要

	種類	販売価格	数量
A	500 ユーロ金貨<フランス>	8,800,000 円	限定 30 枚
B	500 ポンド金貨<イギリス>	8,800,000 円	限定 30 枚
C	100 ポンド金貨<イギリス>	1,760,000 円	限定 130 枚
D	100 豪ドル金貨<オーストラリア>	1,650,000 円	限定 80 枚
E	100 カナダドル金貨<カナダ>	935,000 円	限定 150 枚
F	50 ユーロ金貨<フランス>	495,000 円	限定 250 枚
G	1000 ニュルタムカラー金貨<ブータン>	495,000 円	限定 70 枚
H	25 豪ドル金貨<オーストラリア>	495,000 円	限定 150 枚
I	30 豪ドルカラー銀貨<オーストラリア>	770,000 円	限定 80 枚
J	銀貨 5 種セット	176,000 円	限定 400 セット

※いずれも税込価格です。

※各商品すべてに特製ケースと発行証明書を付けてお渡しいたします。

2. 予約販売受付期間

2026 年 10 月 5 日（月）～10 月 23 日（金）

※数量限定のため、受付期間中であっても販売予約数量に達した場合は、販売を締め切らせていただきます。

3. お引渡し予定日

2026 年 12 月 8 日（火）以降

4. 販売窓口

当行全営業店（つくばのGammaぐち支店（インターネット専業支店）は除きます。）

以上

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部 IR・広報室
TEL 029-859-8111

YEAR OF THE SHEEP/GOAT 2027



商品の一覧

A.500ユーロ金貨〈フランス〉

8,800,000円(税込) 限定30枚



B.500ポンド金貨〈英国〉

8,800,000円(税込) 限定30枚



C.100ポンド金貨〈英国〉

1,760,000円(税込) 限定130枚



D.100豪ドル金貨〈オーストラリア〉

1,650,000円(税込) 限定80枚



H.25豪ドル金貨〈オーストラリア〉

495,000円(税込) 限定150枚



E.100カナダドル金貨〈カナダ〉

935,000円(税込) 限定150枚



F.50ユーロ金貨〈フランス〉

495,000円(税込) 限定250枚



G.1000ニュルタムカラー金貨〈ブータン〉

495,000円(税込) 限定70枚



I.30豪ドルカラー銀貨〈オーストラリア〉

770,000円(税込)

限定80枚



J.銀貨5種セット

176,000円(税込) 限定400セット

- ①2ポンド銀貨〈英国〉
- ②15カナダドル銀貨〈カナダ〉
- ③10ユーロ銀貨〈フランス〉
- ④500ニュルタムカラー銀貨〈ブータン〉
- ⑤1豪ドルカラー銀貨〈オーストラリア〉



YEAR OF THE SHEEP/GOAT 2027



デザインと解説

■英国 (500ポンド金貨、100ポンド金貨、2ポンド銀貨)



英国王チャールズ3世の肖像が描かれています。肖像は彫刻家マーティン・ジェニングス氏がデザインし、国王自らによって承認されました。周囲には額面、発行年、「CHARLES III・D・G・REX・F・D」（神の恩寵による王、信仰の守護者の略）と刻まれています。



"羊小屋の丘"という意味をもつイングランドのコッツウォルズ (Cotswolds) 地方を思わせる丘陵地帯を背景に、豊かな羊毛と長く巻いた大きな角が特徴的な雄羊を堂々とデザイン。緻密な彫刻技術により、細部までリアルに表現されています。上部に「羊」、「YEAR OF THE SHEEP 2027」と刻まれています。

■フランス (500ユーロ金貨、50ユーロ金貨、10ユーロ銀貨)



山羊乳チーズ(シェーヴル)の食文化を持つフランスの山羊がリングを通り抜ける大胆な構図。気品ある佇まいや穏やかさを感じさせる表情が繊細に表現されています。リングには十二支の動物や植物などが緻密に描かれています。**500ユーロ金貨**は、山羊を鏡面、背景をフロストの艶消しで仕上げた「リバースブルーフ」加工を採用。



中国の伝統的な寺院の扉が右上に円形で描かれ、それを扇状に取り囲むように十二支の動物たちが精緻な彫刻技術でランダムかつ重層的に描かれています。周りには年号 (2018年~2029年)、額面、フランス語で「中国暦」と刻まれています。

■カナダ (100カナダドル金貨、15カナダドル銀貨)



カナダのアーティスト、スティーブン・ロザティ氏が手がけた国王チャールズ3世の肖像が描かれています。周囲には額面、「CHARLES III・D・G・REX」（神の恩寵による王の略）と刻まれています。



金貨：ロッキーマウンテンなど山間部に生息する立派な角を持つ大角羊(ビッグホーン)をデザイン。羊の体は春の象徴である桜の花のモチーフで飾られ、背景には岩山や湧き立つ雲のモチーフを刻印。**銀貨**：前脚をあげた穏やかで可愛い表情の山羊をデザイン。周囲には幸福を象徴する牡丹、長寿を象徴する菊花、カナダを象徴する楓なども刻印。

YEAR OF THE SHEEP/GOAT 2027



■ ブータン (1000ニュルタムカラー金貨、500ニュルタムカラー銀貨)



渦巻く雲のモチーフに囲まれて穏やかに佇む羊の姿をグラフィカルにデザイン。羊の体に繊細に施された雲や葉の文様は、自然との深い調和や安らぎと幸福を重ねるブータンの文化を表現しています。周りには「YEAR OF THE SHEEP」、額面などを刻印。



2015年に建立されブータン仏教の象徴となっている、首都ティンブー市の丘にある高さ54mの世界最大級の黄金の大仏「ブッダ・ドルデンマ」をカラーでデザイン。周りには発行国、発行年などを刻印。

■ オーストラリア (100豪ドル金貨、25豪ドル金貨、30豪ドルカラー銀貨、1豪ドルカラー銀貨)



英国王立造幣局のデザイナー、ダン・ソーン氏が手がけた国王チャールズ3世の肖像を刻印。周囲には発行国のほか、重量や額面、品位なども刻まれています。



金貨：岩場に力強く立つ、大きな鋭い角とあごひげが特徴的な気品ある佇まいの山羊をデザイン。背景には松の木なども描かれています。上部には山羊を表す英語「GOAT」と「羊」を刻印。**銀貨**：雄大な山々を背景に悠々と佇む父親、桜の木の下で穏やかに休む母親、無邪気に跳ねる子供の山羊の家族がカラーでいきいきと描かれ、未年を象徴する家族の調和や温かみを感じさせます。

YEAR OF THE SHEEP/GOAT 2027



干支記念コインシリーズについて

日本人に馴染みの深い「干支」をテーマに、2010年の「卯年」から毎年発行されているシリーズで、コレクターをはじめ家族、友人などのライフイベントにちなんだ記念品や贈答品としても人気の企画となっています。初年度は1カ国が発行する4種類でしたが、5つの造幣局によるバラエティ豊富なラインアップに増加。また希少価値の高い5オンス(約156g)サイズの大型金貨は2022年に英国から初登場、2025年よりフランスからも発行されています。



造幣局について

■英国王立造幣局 (ロイヤル・ミント)

英国王立造幣局(The Royal Mint)は、ロンドンに複数あった小さな貨幣工場の一つとして886年に設立。その後1279年にロンドン塔内に造幣局として集約されて以後500年、英国の硬貨製造を一手に担うまでになります。この間、造幣局長をつとめたアイザック・ニュートンらの貢献によって偽造防止のための精密かつ高硬度の鑄造技術などが開発されました。生産拡張のため19世紀にはタワー・ヒルに、1970年代にはロンドンを離れ現在の拠点であるウェールズ・ラントリサントに移転。現在では世界有数の造幣局として年間約50億枚のコインを鑄造しています。

■フランス国立造幣局 (モネ・ド・パリ)

フランス国立造幣局(Monnaie de Paris)は、シャルル2世により864年に設立された世界最古の造幣局で、現在に至るまで稼働し続けている最古の企業でもあります。その歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代の9世紀にさかのぼります。18世紀に建設されたパリの造幣局には、美術館が併設。高度な技術を有する職人による記念コインをはじめ、メダル、勲章などの製作を行っており、その芸術性や独創性、デザイン性は世界的にも高く評価されています。

■カナダ王室造幣局

カナダ王室造幣局(The Royal Canadian Mint)は、1908年に英国王立造幣局のオタワ支局として設立され、カナダで流通する全ての貨幣の鑄造および管理を担う営利目的の公社です。19世紀末のユーコン準州およびニューコロンビア州におけるゴールドラッシュとともに精錬所を設立するなど、1世紀の間に世界有数の生産量と品位を誇る流通貨幣や収集用コイン、地金などの製造業者に成長しました。近年では「2025 Mint Directors Conference(MDC)」において、『辰年50ドル銀貨』が「Best Commemorative Silver Coin」に輝くなど世界的に高く評価されています。

■シンガポール造幣局

シンガポール造幣局(The Singapore Mint)は、同国独立後の貨幣流通を担うため1968年に設立。1970年代以降はブータンやマカオといった海外の硬貨鑄造の委託も受けており、1980年代に政府関連企業となりました。造幣局としては世界的にも数少ない熟練した職人チームを擁しており、手作業ならではの繊細な表現とともに、2000年代以降はホログラム、潜像加工、ウルトラハイレリーフ仕上げなどさまざまな革新的技術を融合したユニークなコインを鑄造し、国際的な賞も数多く受賞しています。

■オーストラリア・パース造幣局

パース造幣局(The Perth Mint)は、英国王立造幣局の3番目の支局として1899年に設立され、オーストラリア最古の歴史を誇ります。西オーストラリアで発掘される金の精錬や英国政府の植民地に向けた金貨の鑄造を1931年の金本体制の廃止まで担い、その後1970年に西オーストラリア州政府の所有となりました。同国最大の貴金属企業でもあり、とりわけ金や銀の地金、希少価値の高い収集用コインなどにおいて高い実績を有します。**2026年7月には、世界最大の重さ521.2kg、純度99.999%のゴールドバーを製造し、ギネス世界記録にも登録されました。**